

各 位

 フィデアホールディングス株式会社
 株式会社 荘内銀行
 株式会社 北都銀行

平成 29 年 3 月期（平成 28 年度）第 2 四半期 決算概要について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：田尾 祐一、以下「フィデアHD」）は、平成 29 年 3 月期（平成 28 年度）第 2 四半期連結業績等の概要と、株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：上野 雅史、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：斉藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績等につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. フィデアHD
(1) 平成 29 年 3 月期第 2 四半期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）連結業績

金融緩和政策の影響による貸出金利回りの低下や、環境変化を睨みながら収益基盤の持続性に配慮したポートフォリオ運営を行い有価証券関係損益が減少したことなどから、経常収益は前年同期比 24 億 34 百万円（8.8%）減少し 250 億 11 百万円、経常利益は前年同期比 40 億 21 百万円（52.3%）減少し 36 億 60 百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比 25 億 78 百万円（43.6%）減少し 33 億 25 百万円。

譲渡性預金を含む預金等残高は、法人預金を中心に前年同期比 62 億円（0.2%）増加し 2 兆 5,945 億円。貸出金残高は、個人ローンを中心に前年同期比 238 億円（1.3%）増加し 1 兆 7,694 億円。

			番号	フィデアHD	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
【連結】	損 益	経常収益	(1)	25,011 百万円	27,446 百万円	△ 2,434 百万円	△ 8.8 %
		業務純益	(2)	4,274 百万円	6,378 百万円	△ 2,104 百万円	△ 32.9 %
		コア業務純益*	(3)	3,464 百万円	5,816 百万円	△ 2,351 百万円	△ 40.4 %
		経常利益	(4)	3,660 百万円	7,682 百万円	△ 4,021 百万円	△ 52.3 %
		親会社株主に帰属する中間純利益	(5)	3,325 百万円	5,903 百万円	△ 2,578 百万円	△ 43.6 %
	主要勘定残高 (末 残)	総資産	(6)	29,305 億円	28,812 億円	493 億円	1.7 %
		預金等(譲渡性預金を含む)	(7)	25,945 億円	25,883 億円	62 億円	0.2 %
		貸出金	(8)	17,694 億円	17,455 億円	238 億円	1.3 %
		有価証券	(9)	9,792 億円	10,248 億円	△ 456 億円	△ 4.4 %
	自己資本比率 経 営 効 率	自己資本比率(速報値)	(10)	9.61 %	9.67 %	△ 0.06 ㊦	
		コア業務粗利益経費率(OHR)	(11)	81.04 %	71.48 %	9.56 ㊦	
【合算】	不良債権	金融再生法開示債権額	(12)	37,786 百万円	40,450 百万円	△ 2,663 百万円	△ 6.5 %
		総与信に占める割合	(13)	2.08 %	2.25 %	△ 0.17 ㊦	
		与信関係費用	(14)	892 百万円	△ 24 百万円	916 百万円	— %

*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金繰入額 (以下、同様。)

(2) 平成 29 年 3 月期（平成 28 年度）業績予想

フィデアHD（連結）、荘内銀行（単体）、北都銀行（単体）のいずれも、平成 28 年 5 月 11 日に公表した平成 29 年 3 月期通期業績予想を変更しておりません。

H29/3期	番号	フィデアHD (連結)	ご参考 H29/3期	荘内銀行 (単体)	北都銀行 (単体)
経 常 利 益	(15)	5,600 百万円	経 常 利 益	2,800 百万円	2,500 百万円
親会社株主に帰属 する当期純利益	(16)	4,100 百万円	当 期 純 利 益	2,000 百万円	2,000 百万円

(次ページへ)

2. 荘内銀行

平成 29 年 3 月期第 2 四半期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）単体業績

貸出金利息や有価証券関係損益が減少したことなどから、経常収益は前年同期比 8 億 28 百万円減少し 126 億 1 百万円。チャネル投資に伴う経費の増加等を含め、経常利益は前年同期比 18 億 23 百万円減少し 16 億 4 百万円、中間純利益は前年同期比 4 億 69 百万円減少し 16 億 57 百万円。

譲渡性預金を含む預金等残高は、法人預金を中心に前年同期末比 45 億円増加し 1 兆 3,482 億円。貸出金残高は、個人ローンや事業性貸出を中心に前年同期末比 358 億円増加し 9,774 億円。

			荘内銀行				
			番号	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率	
【単体】	損益	経常収益	(17)	12,601 百万円	13,430 百万円	△ 828 百万円	△ 6.1 %
		業務純益	(18)	2,306 百万円	2,857 百万円	△ 551 百万円	△ 19.2 %
		コア業務純益	(19)	1,823 百万円	2,883 百万円	△ 1,059 百万円	△ 36.7 %
		経常利益	(20)	1,604 百万円	3,428 百万円	△ 1,823 百万円	△ 53.1 %
		中間純利益	(21)	1,657 百万円	2,126 百万円	△ 469 百万円	△ 22.0 %
	主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(22)	13,482 億円	13,437 億円	45 億円	0.3 %
		貸出金	(23)	9,774 億円	9,415 億円	358 億円	3.8 %
		有価証券	(24)	4,956 億円	5,190 億円	△ 234 億円	△ 4.5 %
	自己資本比率	自己資本比率(速報値)	(25)	10.00 %	9.86 %	0.14 ㊦	
	経営効率	コア業務粗利益経費率(OHR)	(26)	79.79 %	70.60 %	9.19 ㊦	
不良債権	金融再生法開示債権額	(27)	24,421 百万円	25,206 百万円	△ 785 百万円	△ 3.1 %	
	総与信に占める割合	(28)	2.45 %	2.62 %	△ 0.17 ㊦		
	与信関係費用	(29)	593 百万円	106 百万円	486 百万円	454.7 %	

3. 北都銀行

平成 29 年 3 月期第 2 四半期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）単体業績

貸出金利息や有価証券関係損益が減少したことなどから、経常収益は前年同期比 10 億 69 百万円減少し 117 億 91 百万円、経常利益は前年同期比 19 億 74 百万円減少し 17 億 94 百万円、中間純利益は前年同期比 19 億 43 百万円減少し 14 億 74 百万円。

譲渡性預金を含む預金等残高は、法人預金が増加したものの金融機関預金が減少したことなどから、前年同期末比 36 億円減少し 1 兆 2,550 億円。貸出金残高は、個人ローンが増加したものの地方公共団体向けが減少したことなどから、前年同期末 116 億円減少し 8,087 億円。

			北都銀行				
			番号	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率	
【単体】	損益	経常収益	(30)	11,791 百万円	12,860 百万円	△ 1,069 百万円	△ 8.3 %
		業務純益	(31)	1,634 百万円	2,666 百万円	△ 1,032 百万円	△ 38.7 %
		コア業務純益	(32)	1,309 百万円	2,417 百万円	△ 1,108 百万円	△ 45.8 %
		経常利益	(33)	1,794 百万円	3,769 百万円	△ 1,974 百万円	△ 52.3 %
		中間純利益	(34)	1,474 百万円	3,417 百万円	△ 1,943 百万円	△ 56.8 %
	主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(35)	12,550 億円	12,587 億円	△ 36 億円	△ 0.2 %
		貸出金	(36)	8,087 億円	8,204 億円	△ 116 億円	△ 1.4 %
		有価証券	(37)	4,835 億円	5,059 億円	△ 223 億円	△ 4.4 %
	自己資本比率	自己資本比率(速報値)	(38)	11.80 %	11.28 %	0.52 ㊦	
	経営効率	コア業務粗利益経費率(OHR)	(39)	84.62 %	74.90 %	9.72 ㊦	
不良債権	金融再生法開示債権額	(40)	13,365 百万円	15,243 百万円	△ 1,878 百万円	△ 12.3 %	
	総与信に占める割合	(41)	1.62 %	1.83 %	△ 0.21 ㊦		
	与信関係費用	(42)	299 百万円	△ 131 百万円	430 百万円	- %	

以上

【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】

I R グループ 大石 (TEL:022-290-8800)、佐藤 (TEL:023-626-9006)、市田 (TEL:018-833-4211)